

こんにちは 家畜保健衛生所です

平成28年 3月

豚流行性下痢（PED）の防疫措置の再徹底について

いつも、豚伝染性疾病抗体検査にご協力ありがとうございます。平成28年2月の検査の結果、**県内でPED抗体陽性例が散見**されました。発症例は確認されていませんが、PEDの防疫措置を再徹底しましょう。

○農場にウイルスを持ち込まないようにしましょう

衛生管理区域内に必要な人は立ち入らせない。

入場する場合は、入場者の記録をとる。

農場や畜舎の出入り口での消毒を徹底する。

衣服の更衣、長靴の履き替えを実施する。

新たに導入する場合は、2～4週間隔離された豚舎、場所で健康観察を行う。

食品残渣を利用する場合は、加熱など適切な処理を行う。

と畜場出荷前後は、十分に消毒しましょう。

○ワクチンの特徴を理解し、積極的に利用しましょう

用法・用量を厳守しましょう。

ワクチンの活用と合わせて、豚舎の消毒も行いましょう。

抗体を有した母乳を飲むことで、哺乳豚に効果が現れるため、母豚が十分に乳を出しているか確認しましょう。

哺乳豚が十分に乳を飲めるよう衛生的な環境を保ちましょう。

○異常があればすぐに家畜保健衛生所に連絡を

通報の遅れは他の農場への感染拡大につながります。

通常と異なる**下痢や嘔吐、食欲不振、死亡**等が確認された時には必ず家畜保健衛生所までご連絡ください。

平日

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700

家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440

夜間・休日

大西 080-5318-1256

藤井 080-6120-2994

松田 090-9051-0538

